

平成24年度 決算報告

平成24年度事業報告及び各会計収支決算について次のとおりいずれも承認されました。

■平成24年度 医療施設特別会計歳入歳出決算報告

収益的収入	収益的支出	差引
6,707,889,432円	6,619,377,980円	88,511,452円

■平成24年度 血液事業特別会計歳入歳出決算報告

収益的収入	収益的支出	差引
3,123,124,484円	3,452,593,363円	△329,468,879円

受章者の紹介

厚生労働大臣感謝状 年間100万円以上

- 福島市 村山 陽一
- 北塙原村 高橋 伝
- 本宮市 鈴木美保子

日本赤十字社社長感謝状 金色有功章受章後累計50万円の都度

- 福島市 作田 善雄
- 白河市 小櫻 輝
- 福島市 村山 陽一
- 会津若松市 鈴木 光雄
- 本宮市 鈴木美保子
- 喜多方市 ほまれ酒造株
- 郡山市 遠藤智商事株

金色有功章 累計が50万円以上

- 福島市 村山 陽一
- 田村市 本田 茂典
- 伊達市 阿部 富吉
- 会津若松市 鈴木 光雄
- 伊達市 高橋 寿郎
- 喜多方市 佐原和佳子
- 本宮市 渡辺 繁夫
- 会津美里町 酒井志津子
- 郡山市 (医)慈繁会付属 土屋病院
- 川内村 佐久間優次郎
- 田村市 佐藤 興正

皆様からのご支援に感謝しております。

(平成24年12月1日～平成25年11月30日)順不同・敬称略

銀色有功章 累計が20万円以上

- 福島市 斎藤 武宜
- 郡山市 矢吹 寅朔
- 福島市 斎藤 克治
- 白河市 (株)マネジメントオフィスズキ
- 福島市 亀谷建設株
- 会津若松市 第一緑化工業株
- 福島市 (株)大丸工務店
- 会津若松市 庄條 徳一
- 福島市 (有)佐々木鉄筋工業所
- 喜多方市 渡部 伝一
- 福島市 斎藤 正明
- 南相馬市 金沢 吉信
- 伊達市 (株)酒井東栄コーポレーション
- 相馬市 佐藤 正博
- 伊達市 仁志田登美子
- 浅川町 大同化工株
- 郡山市 県南電気工事協同組合
- 矢吹町 矢吹自動車教習所
- 郡山市 (株)ミツワ工務店
- 猪苗代町 浅川 幸雄
- 郡山市 采女運輸株
- 猪苗代町 宗像 秀雄
- 郡山市 (有)すずちく
- 南会津町 (有)星商店
- 郡山市 (株)矢吹観光
- 下郷町 佐藤 尊
- 郡山市 鈴木 庄三

平成25年 国内義援金・海外救援金受付状況 (平成25年11月30日現在)

国内義援金

●平成25年夏島根県西部大雨災害	353,557円
●山口県平成25年7月28日大雨災害	297,252円
●岩手県平成25年豪雨・大雨災害	336,819円
●秋田県大雨災害	341,631円
●埼玉県竜巻災害	388,090円
●埼玉県台風18号災害	345,328円
●平成25年9月京都府台風18号災害	362,881円
●東日本大震災義援金(H23.3.12からの合計)	790,567,691円
合計	792,993,249円

海外救援金

●フィリピン南部台風救援金	43,369円
●2013年フィリピン台風救援金	3,230,400円
合計	3,273,769円

※義援金は、被災者に全額配分することになっております。

発行所／日本赤十字社福島県支部

福島市永井川字北原田17 電話024(545)7997代 <http://www.fukushima.jrc.or.jp/>

■平成24年度一般会計歳入歳出決算報告

歳入	歳出	翌年度繰越金
482,586,385円	470,586,231円	12,000,154円
歳入 岁入合計 482,586,385円		
1 一般社資収入(個人社費、寄付金)	250,382,306円	
2 法人社資収入(法人社費、寄付金)	8,776,731円	
3 繰入金(資金、特別会計)	4,500,000円	
4 本社交付金	205,272,586円	
5 その他収入	13,654,762円	
歳出 岁出合計 470,586,231円		
1 災害救護救援費、資機材費	26,948,753円	
2 救急法等講習会費(救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援)	16,691,302円	
3 赤十字奉仕団(ボランティア)育成費	21,704,134円	
4 青少年赤十字(JRC)育成費	23,089,424円	
5 医療事業費・血液事業費	8,712,199円	
6 救護看護師養成費(奨学金)	9,009,900円	
7 社員募集、社資募集経費	29,315,244円	
8 地区・分区(市町村)事務費、事業費	49,539,521円	
9 日赤本社活動費	37,823,855円	
10 社会福祉費(復興支援事業費)	194,168,070円	
11 業務管理諸費	53,583,829円	

平成26年1月

第38号

日本赤十字社福島県支部

題字：日本赤十字社福島県支部長 佐藤雄平(福島県知事)

日本赤十字社は福島県の復興のため
様々な支援活動を行っています。



◆赤十字すまいるぱーく

東日本大震災からまもなく3年になります。震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

日本赤十字社福島県支部では、発災直後から支援を開始し、平成25年度も県内各地で支援活動を展開しています。仮設住宅等に避難されている方を対象に健康づくりと心のケアを支援する「にこにこ健康教室」、避難住民の方が一堂に会する「住民交流会」の開催、原発事故による放射線への不安から屋外活動が制限されている子供たちが安心して遊べる屋内遊び場「赤十字すまいるぱーく」の県内6か所での開催など、県民の皆さまの支援に全力で取り組んでいます。



▲ふるさと住民交流会



▲にこにこ健康教室

赤十字の活動資金に協力をお願いします

ご協力いただいた金額により表彰があり、税制上の優遇措置もあります。



災害救護活動

Disaster Relief



看護師等養成

Training the Nurses



国際活動

(救援と開発協力)



赤十字ボランティア

Volunteers



血液事業

Blood Programme



青少年赤十字

Junior Red Cross



講習普及事業

Safety Services



社会福祉事業

Social Welfare Services

お問い合わせ

組織振興課：024(545)7998

いのちと健康を守る講習会

生命と健康を守り、安全・安心、共に助け合う地域づくりを推進するため、福島県支部では各種講習会を開催し、心肺蘇生やAEDの使い方を広く県民に普及しています。また、高齢社会における看護や介護のしかた、健康増進、介護予防についても指導しています。さらに、災害時の知識を学ぶ防災教室も実施します。

急救法



倒れた人を救う心肺蘇生の練習

健康生活支援講習



身体を拭いて足湯の後に…

水上安全法



器具を使って救助する方法

幼児安全法



小児の事故防止と心肺蘇生

赤十字奉仕団

福島県内では147の赤十字奉仕団があり、1万3千人余の団員が活動しています。東日本大震災では発災直後から避難所での炊き出しを開始し、現在も仮設住宅等での支援活動を積極的に行ってています。



「お茶会」の様子



「パッチワーク教室」の開催

献血は愛です

LOVE in Action

複数回献血クラブ会員募集中!!

年間複数回、成分献血・400mL献血にご協力いただける方を募集しています。

ご登録いただくと…

- 献血時における検査成績をサイトで照会できます。
- 成分献血の予約がインターネット上でできます。
- (福島県内の血液センター及び献血ルーム)
- 血液が不足した時に献血のご依頼をさせていただきます。
- 献血イベントやキャンペーンのご案内をお知らせいたします。



携帯電話からのご登録

abo@kenketsu.jp

に空メールを送信

ドメインkenketsu.jpからのメールを受け取れるよう設定願います。

パソコンからのご登録

<http://www.kenketsu.jp/> にアクセス

ご登録には、献血者コード(献血カードに記載)と生年月が必要となります。



福島赤十字病院 看護スタッフ募集

- 資格／看護師・看護助手
- 勤務／外来・病棟
- 給与／日本赤十字社給与要綱により支給いたします。

臨時・パート
募集中!!

- 詳細については、下記までお問い合わせください。
- 当院ホームページにも掲載しておりますので、参照ください。

お問い合わせ
福島赤十字病院 総務課人事係
024(534)6101
URL <http://www.fukushima-med-jrc.jp>

青少年赤十字

青少年赤十字指導者研修会 並びに学校公開

平成24年・25年度研究推進校の会津美里町立新鶴小学校、同新鶴中学校が2年間の実践活動を発表しました。県内外から先生方270名余が参加し、青少年赤十字活動の取り組みについて理解を深めました。



新鶴小学校2年生の公開授業

第8回わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案の表彰

青少年赤十字加盟校94校から7,539点の応募がありました。

■社長賞「いのちの詩・愛の詩」部門

福島市立福島第一中学校 3年 宇野 翔さん

小学校の卒業式はなかだ
返事を合唱の練習を
あれほどやつたのに
卒業証書は校長室で
学校は先生は友達は
先生の拍手や言葉は
不^ト受け取るは温か^{マサ}また

国際交流事業

海外青少年との交流や異文化への理解を通して国際性豊かな青少年を育成するため8月11日から18日まで青少年赤十字(JRC)の高校生メンバーや指導者15人をフィリピンに派遣。フィリピンの小・中・高校、フィリピン赤十字社を訪問し交流を深めるとともに福島の現状や東日本大震災に対する支援に感謝を伝えました。また、一度も稼動したことのない原子力発電所や第二次世界大戦の跡地などを見学しました。11月のフィリピン台風災害は派遣メンバーにとって他人事とは思えず、県大会での募金、千羽鶴折りなどの支援活動を行っています。



ケソン市支部での交流



バタヤス小学校で「よさこい」を披露

万一の災害に備え

テーマは被爆医療 県支部救護訓練を開催

7月13日、平成25年度災害救護訓練を支部内で開催。県内の各赤十字施設から63人の職員が参加し、救護所に多数の傷病者を受入れる訓練を行うとともに、放射性物質による汚染傷病者の診療手順などを学びました。防護服を着用するなど本番ながらの緊張感を持って臨んだ参加者からは、「万が一の場合は今回の実習を活かし、少しでも落ち着いて対応したい」との声がありました。



防護服の着用方法を学ぶ参加者